

JSS だより 10月号

2019年度第07号 2019年10月05日発行
シンガポール日本語補習授業校

前期の総括から・・・！



先週、前期(20日)が終了しました。皆勤者は、27/325名(8%)でした。この数をどのように捉えられますでしょうか。

本校では日本の学校と比べ1/3程度の授業時数で学習指導要領の内容を学習します。1時間は3倍に濃縮された授業です。それは帰国後、同学齢期の子と同レベル以上の学力をつけることを方針としているからです。欠席・遅刻・早退が多くなると、子どもも家庭も教員も負担が大きくなります。折角補習校に入学しても学力差が生じ途中で進路変更せざるを得ない例も少なくありません。お子様の将来を見据えた取組みを学校と連携・協力して進めて参りましょう。

後期の取組みと目標を明確に！

本日より後期がスタートしました。前期同様、補習校では具体的実践事項として、次の3点に重点をおいて指導して参ります。どうぞ、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

- 1 指導力アップから学力向上に力を入れます。
- 2 日本の伝統文化体験から日本の心を学ばせます。
- 3 マ(マナー)モ(モラル)ル(ルール)を徹底させます。

子どもたちの学力向上は、まず先生方の指導力アップから。前期のiPad研修やエピペン・AED研修以上の教員研修(学年団公開授業や15分ミニ研修の積み上げなど)充実を図って参ります。

また、お月見集会や書道、節分集会など日本の伝統文化にも触れる機会を設けます。

さらに、学習規律訓練や学校生活規則の徹底を進めて参ります。

全て帰国後スムーズに日本の学校になじめるための取組みです。

ご家庭におかれましては、前期通知表をしっかりと受け止め後期の目標を明確にして臨んでいただければと思います。「家庭は第二の教室、保護者は第二の担任！」です。どうぞ、ご家庭でも同様の取組みでお願い致します。

【お願い】 通知表は「家庭より」の欄にコメント及びサインをお書きいただき、なるべく早く担任に返却ください。

(裏面も→)





本校取組み「アジア大洋州地区補習授業校研究協議会」について紹介します。昨年度立ち上げ、今年8月30日（金）、31日（土）に第2回を行った本研究協議会では、参加した域内補習校の先生方の熱心な協議で盛会裏に終了しました。各ご来賓やPA 役員の皆様にもたいへんお世話になりました。会の趣旨や当日の様子は下記をご覧ください。本校がアジア大洋州のハブ補習校としてその発展、振興に貢献して参ります。

- 1 趣旨 アジア大洋州地区補習授業校における教育指導及び運営上の諸問題について研究協議を行い、今後の補習授業校の共有する課題解決の一助とする。
また、情報交換や今日的課題について胸襟を開き交流を深めることにより、近隣補習授業校学校運営の改善・充実に資する。
- 2 対象校 アジア大洋州域内50補習授業校
- 3 主催・幹事校 シンガポール日本語補習授業校
- 4 後援 在シンガポール日本国大使館
協力 公益財団法人海外子女教育振興財団、全国海外子女教育国際理解教育研究協議会、シンガポール日本人会、シンガポール日本語補習授業校学校運営委員会



【第1回大会 2018/10/27】



本校からも実践発表



【授業参観も】



【第2回大会 2019/8/30~31】